

はじめに

筆者が住む横浜に関する紹介は、2020年の表題「ビールの話」の中で**横浜ビール物語**と、2022年の表題**神奈川の宿と田中家**だが、これに続く**横浜 deep 第3弾**として、**横浜の英連邦戦没者墓地**を投稿する。

筆者が1981年に東芝ロンドン事務所に赴任した年に、英チャールズ皇太子とダイアナ妃が結婚した。帰国2年後の1986年には皇太子ご夫妻は初めて日本を訪れ、東京の青山通りをパレードし、後日、横浜の英連邦戦没者墓地を参拝した。

彼らは国家元首ではなく国賓ではないが公賓だったと思うが、筆者は英連邦戦没者墓地の知識が無く、① **何処にあるのだろう？** ② **日本政府関係者やメディアが同行していないのは何故だろう？**と疑問を持ち、数年後に入り口付近を数分間散策したが、①は分かったが、②の疑問は解けなかった。他にも、英国大好きな筆者でも未解決の経験があり、考えてみたい。下の写真の出典は不明だが、1986年の英皇太子夫妻と英駐日大使の墓参時のイギリスの雑誌だったと思う。この墓参と芝公園にある**聖公会教会**に於ける日曜礼拝はイギリス王室の単独行事で日本側メディアの同行は許可されなかった。



1. **英連邦戦死者墓地**（Yokohama War Cemetery, @横浜市保土ヶ谷区狩場町 238）2022年4月28日訪問
URL: [英連邦戦死者墓地 \(横浜市\) - Wikipedia](#)

(1) 概要：

イギリス連邦加盟国の戦死した軍人については、イギリスを中心にして、世界各地に集団墓地及び記念碑が設置されており、**コモンウェルス戦争墓地委員会**が管理にあっている。横浜の墓地は**イギリス連邦占領軍**によって建設され、サンフランシスコ条約以降は占領解除となったが、1955年に日本とイギリス連邦諸国（イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ共和国、インド、パキスタン）の間に締結された「日本国における英連邦戦死者墓地に関する協定」に基づき、「英連邦戦死者墓地」の設置が確認された。約3ヘクタールの土地にイギリス1013基、オーストラリア278基など全部で1518基の墓碑が建立された。

(2) **イギリス連邦占領軍**

イギリスは戦勝国だが、マレー半島、ビルマ、香港、インドの一部など東南アジア一帯の植民地が日本の占領下に置かれたし、英本土もドイツ空軍の空襲で荒廃していた。1945年8月末から少数のイギリス軍およびオーストラリア軍部隊を東京と横須賀に駐屯はさせたが、まとまった部隊を送ることができなかった。もし、イギリス軍の駐屯ができなければ、アメリカやフランスのみならず、**中華民国やソビエト連邦が、日本占領の利権を狙う恐れがあったため**、英連邦在豪統合参謀本部の下で急遽イギリス連邦構成国のオーストラリア軍やニュージーランド軍、インドに駐留するイギリス軍を中心に「**イギリス連邦占領軍**」を組織した。1946年2月に日本に進駐を開始し、中国・四国地方の占領任務をアメリカ軍から引き継いだ。主な任務は、日本軍の武装解除や兵器の処分、闇市の取り締まりや朝鮮人の不法入国取締りなどの治安維持であった。イギリスおよびインド軍は1947年に帰国し、1948年にはニュージーランド軍が帰国し、その規模は大幅に縮小された。1950年6月25日の**朝鮮戦争勃発**時にはイギリスの陸海軍の大部隊が日本に戻り、日本国内のイギリス連邦占領軍基地が、朝鮮半島で参戦したイギリス連邦軍の後方基地となっている。1952年に日本との平和条約が締結されるとイギリス連邦諸国の日本の占領任務は終了し、部隊は帰国、1955年に解散した。

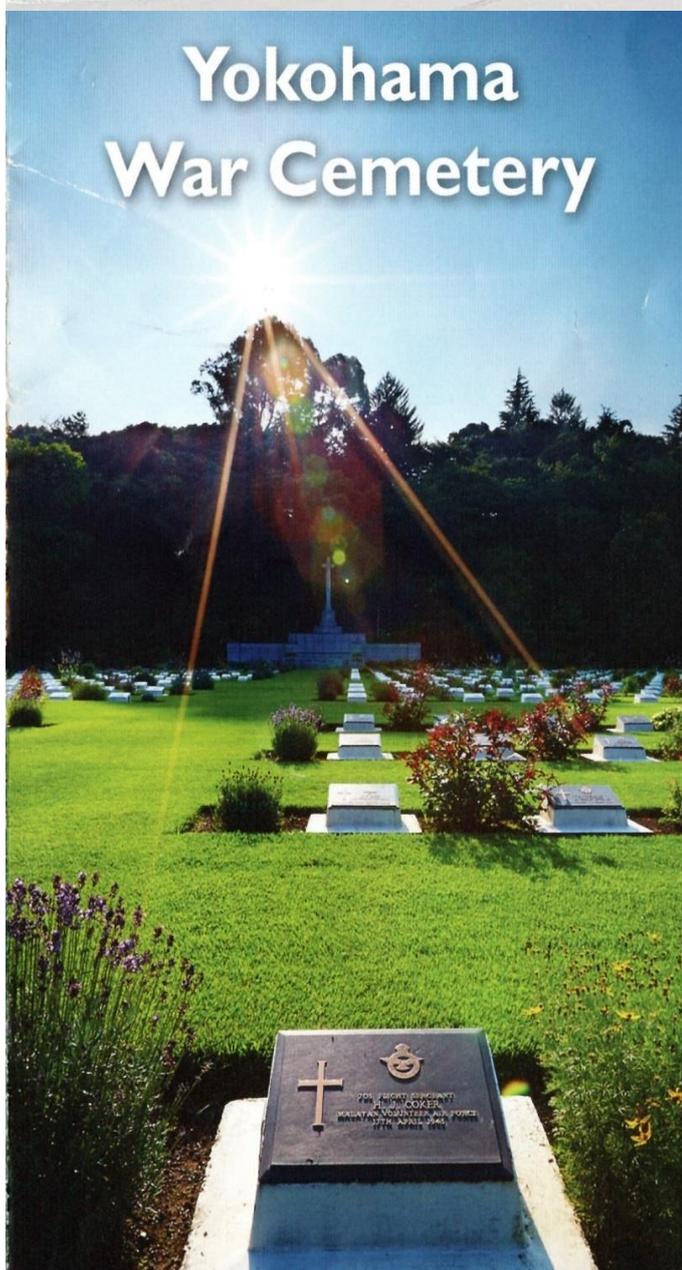
横浜の英連邦戦没者墓地

(3) 横浜市児童遊園地に隣接しており、図1の正面入り口は遊園地道路に面してはいるが、看板は無く、守衛も不在で訪問者は女子大学生一人だった。入口を入ると小さな小屋があり、パンフレットが置かれているが全て英語である。

図1



2022/04/28



Yokohama War Cemetery

|||||
COMMONWEALTH
WAR GRAVES
|||||

COMMONWEALTH WAR CEMETERY YOKOHAMA

英連邦戦死者墓地

日本国政府の厚意によって提供されたこの土地には、英連邦諸国、アメリカ合衆国、オランダ王国の各国民で祖国の為に生命をささげた人々が葬られています。この墓地の維持管理は英連邦戦死者墓地委員会が英国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ共和国、インド、パキスタンの諸国に代わって行っています。参観時間は、8:00AM～5:00PM迄となっています。

英連邦戦死者墓地委員会
横浜市保土ヶ谷区狩場町238 Tel:(045)731-4208

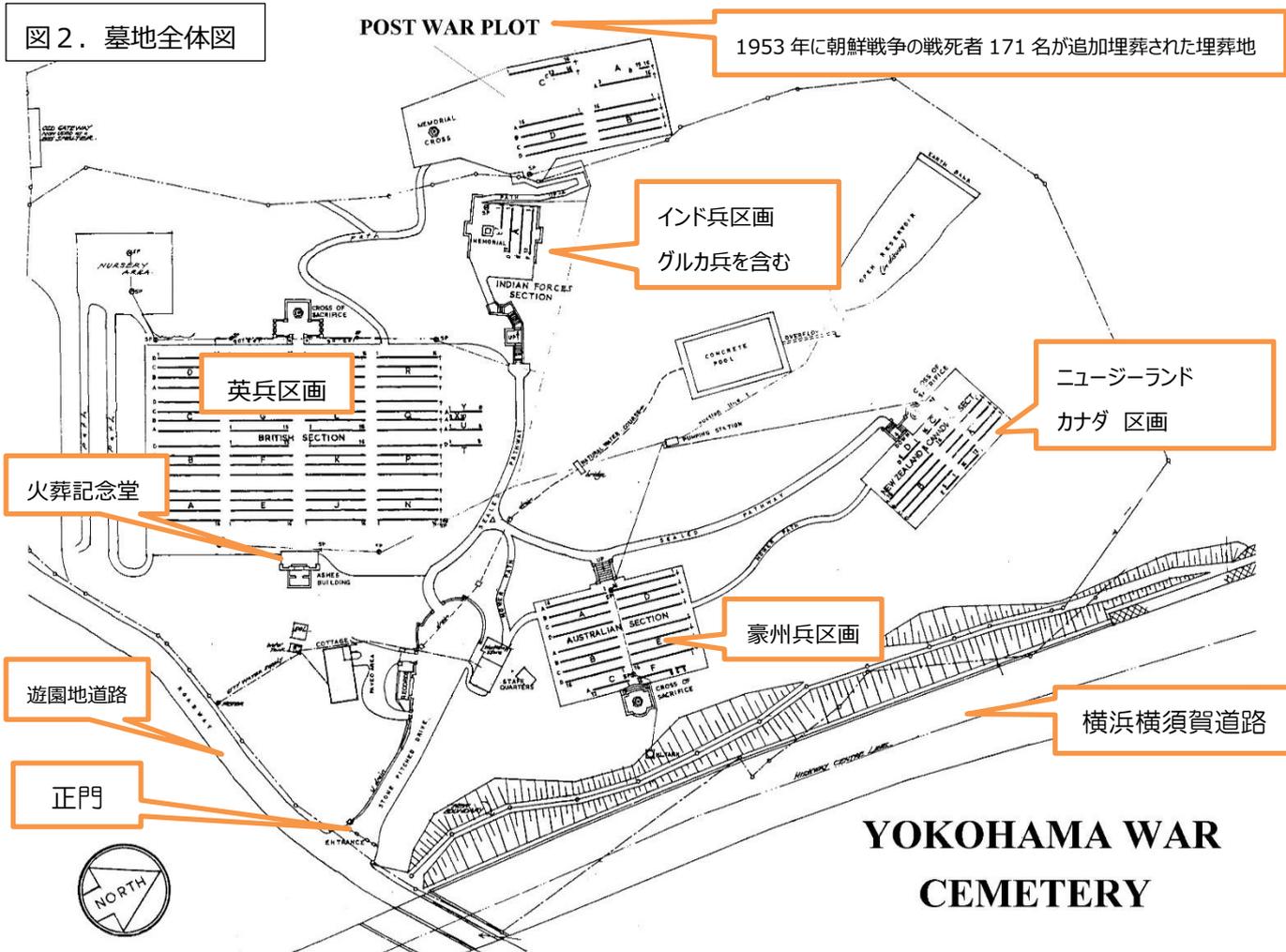
COMMONWEALTH WAR GRAVES COMMISSION
238 KARIBA-CHO, HODOGAYA-KU, YOKOHAMA 〒240-0025
Tel: (045) 731-4208



横浜の英連邦戦没者墓地

(4) 墓地は日本に唯一の英連邦の墓地であり国や地域ごとに区分されている。

各区画を歩き、抜き取りで墓碑を読むと、死亡年は 1946 年以降が多く、占領中に日本で亡くなって土葬されたものと思う。前述の 1518 基の他に英連邦外のアメリカとオランダ兵が 80 人埋葬されている。第二次世界大戦中、何万人もの連合軍兵士と女性が日本軍の捕虜になり、その 35,000 人以上の捕虜が、労働力として日本に連行され、鉱山や造船から軍需品製造まで働かされた。福岡、広島、大阪、名古屋、東京、仙台、函館の 7 か所には、主要な捕虜収容所が設けられた。収容所の状態は過酷で、何千人もの人々が捕虜のまま死亡した。(以上の説明文は現地の案内板の記述による) 収容所等で強制労働で亡くなった捕虜は火葬されて各収容所に保管されていたが、ここに集められて、大きなお骨(火葬灰)箱に入れてある。(後述)



(5) 墓碑の例



ネパールのグルカ兵 46 歳 1946 年 8 月 28 日

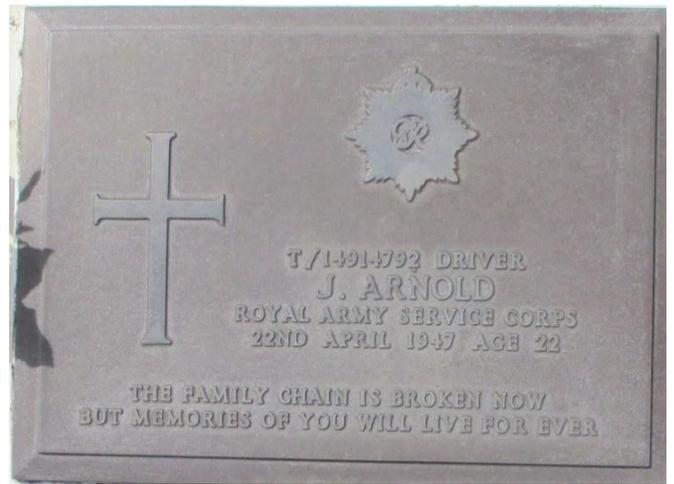


21 歳パイロット、1947 年

横浜の英連邦戦没者墓地



58歳 海軍中佐、1948年



22歳 陸軍兵士、1947年

(6) 火葬記念堂 (Yokohama Cremation Memorial)



上は、記念堂正面上部の文字を拡大したものである



下の写真は、英連邦及びアメリカ、オランダの陸海空軍の335名の兵士の火葬灰を収めたURN(骨壺)である。その内の284名は名前が判明しており、部屋の壁に刻銘されているが、51名は名前が不明である。

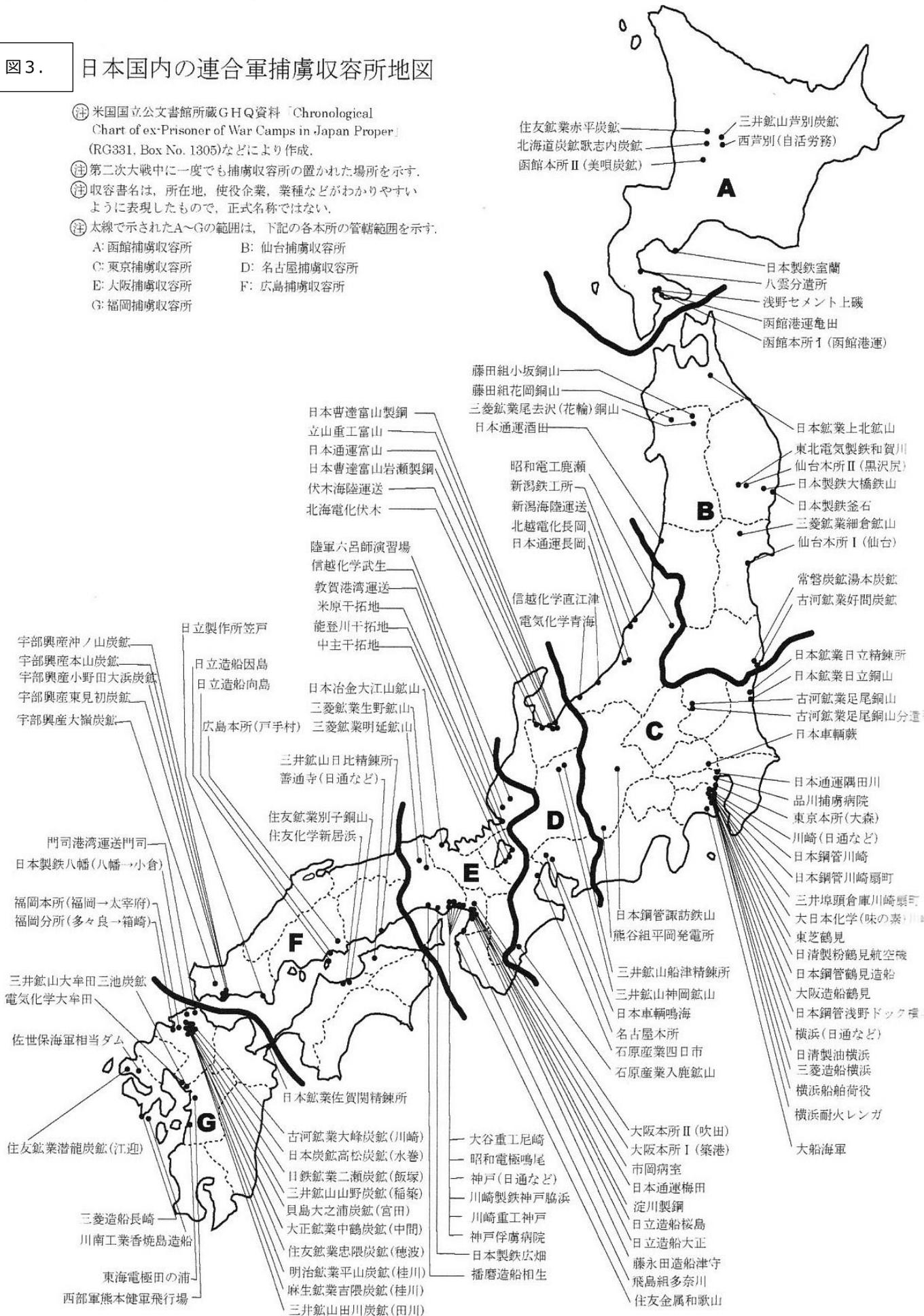


横浜の英連邦戦没者墓地

(7) 日本国内の連合軍捕虜収容所

図3. 日本国内の連合軍捕虜収容所地図

- ① 米国国立公文書館所蔵GHQ資料「Chronological Chart of ex-Prisoner of War Camps in Japan Proper」(RG331, Box No. 1305)などにより作成。
- ② 第二次大戦中に一度でも捕虜収容所の置かれた場所を示す。
- ③ 収容書名は、所在地、使役企業、業種などがわかりやすいように表現したもので、正式名称ではない。
- ④ 太線で示されたA~Gの範囲は、下記の各本所の管轄範囲を示す。
 A: 函館捕虜収容所 B: 仙台捕虜収容所
 C: 東京捕虜収容所 D: 名古屋捕虜収容所
 E: 大阪捕虜収容所 F: 広島捕虜収容所
 G: 福岡捕虜収容所



横浜の英連邦戦没者墓地

(8) 図3. 日本国内の連合軍捕虜収容所地図へのコメント：

- ① 出典の URL : POW Research Network Japan POW (Prisoner of War = 戦争捕虜) 研究会
- ② 地図は7つに区分され A~G の記号がある、これは主要7か所の収容所、即ち函館 A、仙台 B、東京 C、名古屋 D、大阪 E、広島 F、福岡 G であり、それぞれ**本所**と記載されている。
- ③ 筆者が勤務した東芝は戦前からアメリカの GE から重電の技術を導入していて、GE の指導者が来ていたので東芝鶴見も記載されている。戦争が始まってからは、GE の技術者が帰国できずに工場内に収容されたのだろうか？
- ④ 函館捕虜収容所は記録上は残っているが、捕虜のほとんどは各地の炭鉱に移されて強制労働をさせられた。
- ⑤ 仙台の本所は事務のみで捕虜は常磐炭鉱や古河工業の足尾銅山などで労働した。
- ⑥ 東京本所 (大森) は現在の大田区平和島にあった。戦後は、東條英機が一時収容されたこともあり、平和への願いを込めて平和島と呼ばれるようになった。
- ⑦ 名古屋は鳴海収容所で東南アジアから「地獄船」で運ばれてきた英米人の証言などで「地獄を生き抜いた捕虜たち」が日本語で出版されて評判になっている。

(9) 「はじめに」で述べた疑問②「日本政府関係者やメディアが同行していないのは何故だろう？」の考察

先ず回答は、「イギリス連邦は現在のコモンウェルスであり、イギリス王室はコモンウェルスの長でもある。皇太子は次期イギリス王であり、コモンウェルスの長でもあり、墓地訪問はコモンウェルスの内部の行事である。日本政府とは無関係である」です。

墓地は、イギリス連邦占領軍 British Commonwealth Occupation Force, **BCOF** が創設し、英国の所有ではない。イギリスには帝国だった時代は無いが、英国本土を指す United Kingdom の他に、海外植民地を含む全領域を指す語として British Empire が正式に認められていた。これを大英帝国と和訳した時代もあったが、歴史学ではイギリス帝国と訳している。しかし、植民地の範囲が常に変化したので始まりと終わりは未だに諸説ある状態である。

1931年にイギリス連邦 (British Commonwealth of Nations) として設立され、ウェストミンスター憲章で正式に制定された。1949年には現在のコモンウェルス "British Commonwealth" はロンドン宣言によって正式に構成され、共同体を近代化して加盟国を「自由で平等」なものとして確立した。加盟国は、54か国。

コモンウェルスの長は現在、エリザベス 2 世である。その地位は世襲制ではないが、2018年のイギリス連邦元首会議では、エリザベス 2 世第 1 王子のウェールズ公チャールズが女王の指定後継者に指名された。女王は、君主制であるカナダやオーストラリアなど加盟国 21 か国のうち 16 か国の元首であり (イギリス連邦王国)、マレーシアやブルネイなど 5 つの君主国は独自の君主を持つ。インドや南アなど 33 の加盟国は共和制である。

2. 参考、戦後史に関するエピソードを紹介します。

① 1980年マレーシア

初めての単身出張でクアラルンプールに 2~3 週間滞在した。訪問先はイギリス資本の会社でインド系社長の自宅で幹部が 5~6 人で歓迎会をしてくれた。彼らは 10 歳ほど年上で筆者が聞いた事も無い軍歌を次々と歌い、盛り上がった時に、中国系幹部陳 (タン) さんが筆者の名前「**修文**」の意味を聞くので、「父の名前の**修**と**山下奉文**の**文**です」と答えたら、漢字が分からない人がいたので数分間ガヤガヤした後、皆が困った顔をして場が白けて解散した。

後日陳さんは、「中国では大変**立派な意味**だからお聞きした」と言われたが、その意味は昭和の次の元号候補の一位に選ばれた時に初めて知った事だった。結局は明治 M、大正 T、昭和 S に続いて修文 S が続くと混乱するとの事で平成になった。

社長は、「日本が占領中の庶民の映画が上映中なので、是非見てください、マレー語ですが、映像だけ見ても理解できません」と勧めてくれ、満員の映画館の後ろの壁にもたれ掛かって見た。占領下で庶民が日本流の生活を強要されて大変な状態の中で、離れ離れに生活していた主役の若いカップルが、日本に原爆が投下されると結婚できる幸せな生活になり、場内は大歓声で大勢が涙を流して 喜ぶ・・・、日本は、唯一の原爆被爆国・・・と言うが、これほど喜ぶ人たちがいた事を知り、学校で教わらなかった近代史を勉強するきっかけになった。

② 1982年ロンドンの日本人学校にて

横浜の英連邦戦没者墓地

ロンドン駐在の3年間は子供たちは小学・中学とも現地校だったが、日本語が変になるので土曜の午前は日本人学校で開催される日本語の補習講を受けていた。最初の夏休みの前に子供たちは先生から、街中で英国国旗で身を包んだグループに、「日本人か？」と聞かれたら、「中国人だ」と応えるように指導を受けた。



イギリス人は1944年6月6日のノルマンディー上陸作戦の日をD-Day、1945年5月8日のヨーロッパでの勝利をV-E Day、1945年8月15日をV-J Dayと呼んで祝っていた。家族でケンブリッジ大学周辺を観光していてホテルに泊まったら、ロビーに地元のミニコミ紙があり、ケンブリッジ州の歩兵連隊が中心だったマレー半島のイギリス軍を急襲し、捕虜を虐待した記事で反日感情を煽っていた。知らない事だらけで、帰国したら勉強しなければならないと再度痛感した事だった。

1941年に日本軍は真珠湾で米海軍を、マレー半島でイギリス軍を急襲した。東京軍事裁判ではイギリス側はマレー半島やシンガポールでも捕虜の扱いに猛反撃し、サンフランシスコ条約後もくすぶっていた。筆者がロンドンに駐在した時にはテレビでTENKO（点呼）というドラマがヒットしていた。日本軍がシンガポールでイギリス兵捕虜を虐待するドラマだった。その頃、トヨタがMARK-IIという自動車を輸出しようとしたら、MARK-I、IIはイギリスが開発した世界最初の戦車である、と許可されず *Cressida* と名前を変えていた。

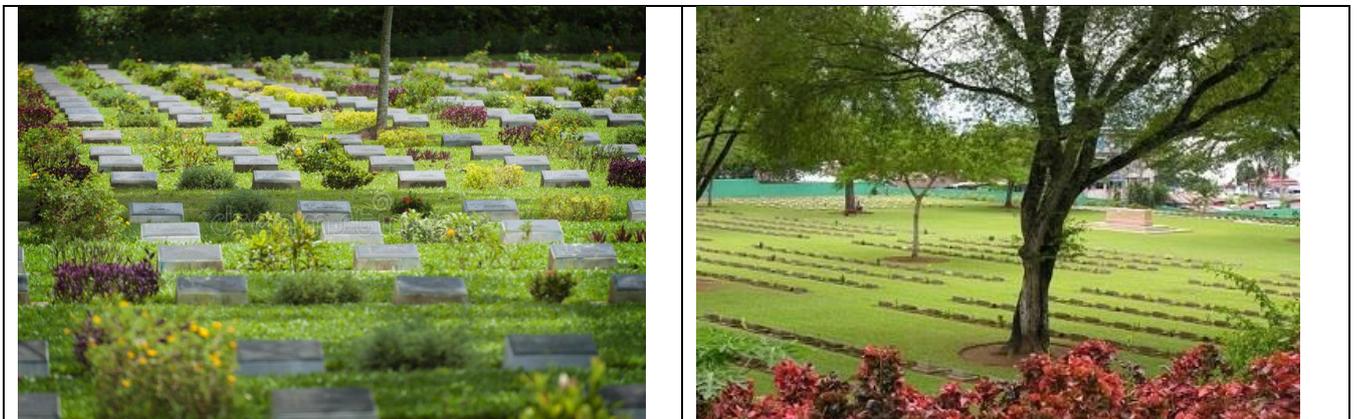
以上

中城さま

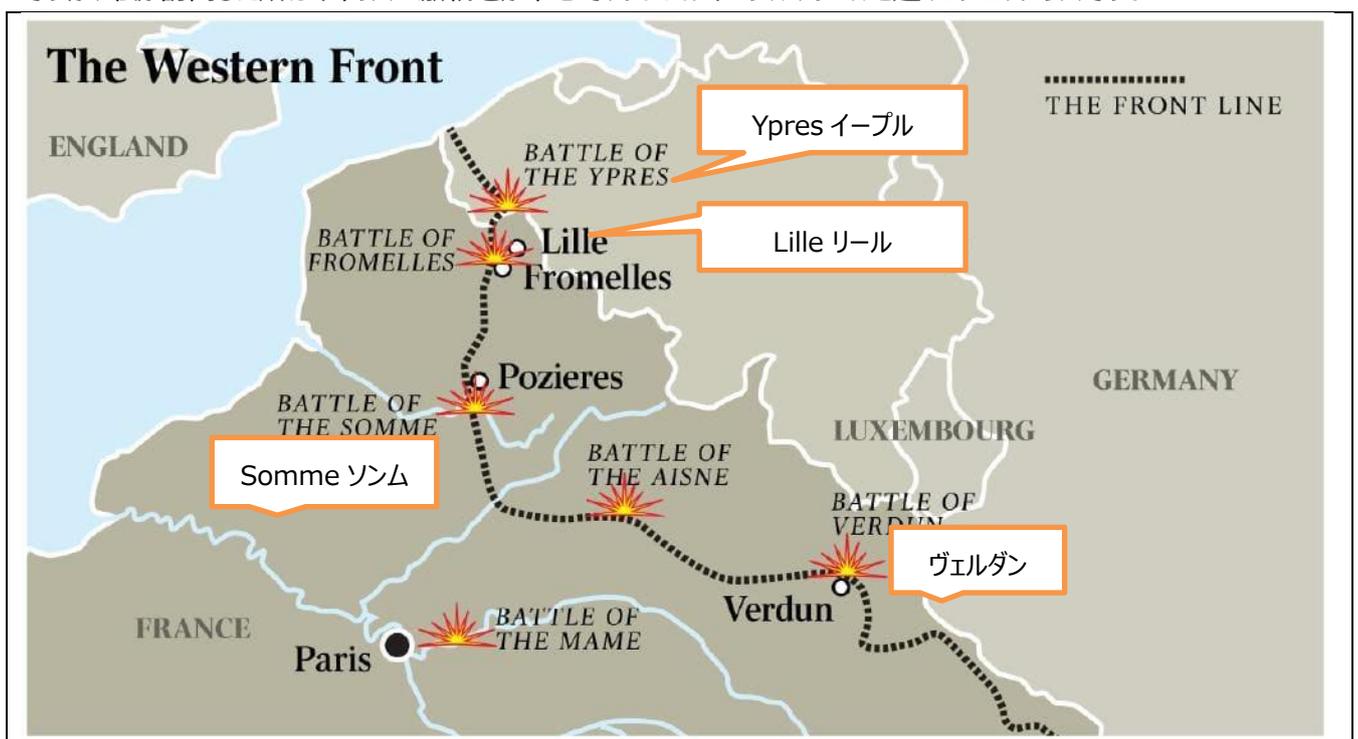
◇ ご健康が優れない中で、早速貴重なコメントを頂きましてありがとうございます。
お手紙の引用です、「私自身も、消化器は完治しましたが、別途の病で当分治療が必要となり、活動がかなり制限されます。我が身の始末を控え、片付けておきたい事項がありすぎて困惑しながら取組んでいます。桂浜の県立龍馬記念館から秋に講演の依頼がありましたが、残念ながら辞退です。」

◇ 先ず、インドネシアの件です：（出典の URL [Indonesia POW Cemetery | COFEPOW](https://www.cofepow.org/indonesia-pow-cemetery)）

第二次世界大戦のインドネシア戦没者墓地はジャカルタ他にも沢山ありますが、アンボン戦没者墓地 **Ambon War Cemetery** は、モルッカ群島の中のアンボン島にある。アンボン島は小さな島で墓地はアンボン町の北部にあり、日本が占領中にはイギリス、オーストラリア、オランダの捕虜を収容していた所である。これらの捕虜の多くはジャワ島から滑走路建設の為に連れてこられたが、収容所は 1943～44 年に連合軍の爆撃で破壊された。捕虜は島の各地に埋葬されたが後にこの戦没者墓地に再埋葬された。アンボン戦没者墓地には、日本がアンボン島やティモールに侵攻した時に戦って戦死したオーストラリア兵士の墓も含まれている。更に、セレベス島やモルッカ群島で戦死した兵士も含まれており、墓地全体の数は 2,137 で半分以上がオーストラリア人でイギリス人は 811 人である。



◇ ヴェルダンも私も行きましたが、ヨーロッパ中世史の勉強の始まりで、フランク王国 3 分割の 843 年のヴェルダン条約関係を勉強している時で、第一次世界大戦のドイツ・フランスの激戦地としては訪問していません。地図は第一次大戦の西部戦線ですが、私が訪問した所はイギリスの激戦地が中心で、ソンム、イーブル、リールと近くのツエ、アラスです。



イギリス・カナダ兵士が大勢戦死したのは、ソムの戦いでした。イープルは 1918 年にドイツが世界で初めて毒ガスを使用した所で、現在でも土壌洗浄をしていると聞きます。100 年以上かかっています。

下の写真は中城さんが訪問したと思われるヴェルダンのフランス兵士の墓地です。WEB から拾いました。



◇ 差出人: [中城 正堯](#) 送信日時: 2022 年 7 月 17 日 9:56

宛先: [otakemoto](#); [公文 先輩](#); [s2](#) CC: [西内 一](#); [富田](#)

件名: Re: 投稿 英連邦戦没者墓地

竹本様

英連邦軍の墓地が日本にこれほどあるとは、驚きました。見事な発見で、研究です。

私は、インドネシアのバルト海に浮かぶバンダ海の**アンボン郊外**で、太平洋戦争中に日本軍と戦った**英連邦軍の墓地**を訪ねました。ほぼ同じスタイルで、墓石がずらりと並んでいました。また、カトリックの世界では、第一次大戦の仏・独の激戦地**ベルダンの丘**を埋め尽くす墓標と記念館を、第二次大戦で従軍医として戦地を体験した齊藤茂太さん夫妻と見学しました。皇太子時代の昭和天皇も訪ね、戦争の悲惨な実態を実感したとされる地です。いずれにしろ、キリスト教では死者は死亡した現地に土葬し、魂はそこから昇天、復活を待つのかと勝手に納得しました。日本人や中国人は、外国・都会で死亡しても遺骨は先祖と同じ墓地に納めないと、祖霊の仲間に入れないと考えるのか、故郷での埋葬への願望が強いようです。遺骨収集に予算を費やしています。近年の田舎の墓仕舞や、都心の納骨アパート的な施設がどのように定着するか、僧侶や神官がなんと説明するかも気になるところです。いろいろ、考えさせられる報告でした。我々の年代には、身近な大問題です。

私自身も、消化器は完治しましたが、別途の病で当分治療が必要となり、活動がかなり制限されます。我が身の始末を控え、片付けておきたい事項がありすぎて困惑しながら取組んでいます。桂浜の県立龍馬記念館から秋に講演の依頼がありましたが、残念ながら辞退です。御元気で、今後も研究下さい。

中城正堯

On 2022/07/16 18:51, [otakemoto](#) wrote:

公文さま、藤宗様 梅雨が明けてから、梅雨前線が現れたり、逆戻りでしょうか？ 如何お過ごしでしょうか？

いつも Deep & Dark な内容で不安ですが、掲載に当たって忌憚のないご指摘をお願いします 竹本 修文